

2018 電気自動車エコラン競技大会 in SUGO
2018 World Electric Vehicle Challenge in SUGO

【大会概要】

2018年3月吉日

将来の技術者による熱い静寂バトル！！

電気自動車エコラン競技大会は、鉛・リチウムイオン ポリマーなどのバッテリーを使用した手作りの電気自動車を使用し、バッテリーを使い切って走行した周回数を競う競技です。大会への参加者は、一般企業・個人を始め、大学生や専門学校生、高校生等が同じ舞台上で技術を競い合い、将来の技術者の育成と未来の省エネルギー車の技術発展に大いに貢献する大会となっています。

電気自動車の構造は単純ですが、実際に人が乗り、SUGOの70mの高低差がある約10%の坂を登るためには、大電流制御のインバーター技術の工夫が必要になります。この工夫は、実用電気自動車においても欠かせない技術です。

SUGOでは、全国に先駆けて23年前から電気自動車のエコラン競技大会が開催されてきました。この高低差があるコースで、電気自動車ならではの電力回生システムの開発競争が行われてきました。

これまでの成果は、車体とドライバー重量約100kgw、鉛バッテリー公称電力270Whで、29周、110kmの走行記録が出ています。

この電気自動車エコラン競技大会は低炭素社会へ向けた先道的な挑戦を積み重ね、「ものづくり」での獨創性を競い、実践的な教育効果も大きく、自動車産業で復興を目指す宮城県としても意義ある大会となっています。つきましては、ぜひ皆様からのご賛同を賜り、ご参加、ご支援いただけますようお願い申し上げます。

開催概要

■大会名称 2018 電気自動車エコラン競技大会 in SUGO

2018 World Electric Vehicle Challenge in SUGO

■開催日時 平成30年 8月11日(土)公式練習※ ・ 12日(日)決勝

※公式練習とは大会実行委員会より指定された練習時間であり、ラップタイムを計測する事を目的とする。

■開催クラス 一般オープンクラス(社会人・大学) ジュニアクラス(高等専門学校・高校)

■会場 SUGO インターナショナルレーシングコース(全長 3,737.50m 高低差 69.83m)
〒989-1394 宮城県柴田郡村田町菅生 6-1 TEL0224-83-3111(代)

■主催・主管 電気自動車エコラン実行委員会

■共催(予定) 日本設計工学東北支部、計測自動制御学会東北支部、仙台高等専門学校

■協賛(予定) 古河電池、日本精工、日本ケミコン、ソリッドワークス・ジャパン、東北工学教育協会、電気学会東北支部、東北文化学園大学、石巻専修大学、宮城トヨタ自動車、モービルジャパン、梶原電気、工藤電機、創造技研、キャンパタフォーラム、東北学院大、東北工業大学、みちのく次世代自動車研究会

■後援(予定) 東北経済産業局、宮城県、県教育委員会、仙台市、市教育委員会、村田町、村田町教育委員会、村田町観光物産協会、JAF東北本部、東北経済連合会、仙台商工会議所、みやぎ工業会、みやぎ産業人クラブ、県自動車整備振興会、東北大学未来科学技術共同センター、研究NHK仙台局、河北新報社、日刊工業新聞社、朝日新聞仙台総局、東北放送、仙台放送、東日本放送、ミヤギテレビ

■競技内容

走行のためのエネルギー源として、主催者の定めた制限質量以内の走行用バッテリーを使用して、それぞれの車両性能に合わせた走行計画のもとに、バッテリーを使い切って走行した周回数を競う競技です。